

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 21 日 (2016.1.21)

【公表番号】特表 2015-504105 (P2015-504105A)

【公表日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2015-008

【出願番号】特願 2014-548185 (P2014-548185)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/685 (2006.01)

C 0 7 D 209/48 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/685

C 0 7 D 209/48 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 11 月 20 日 (2015.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

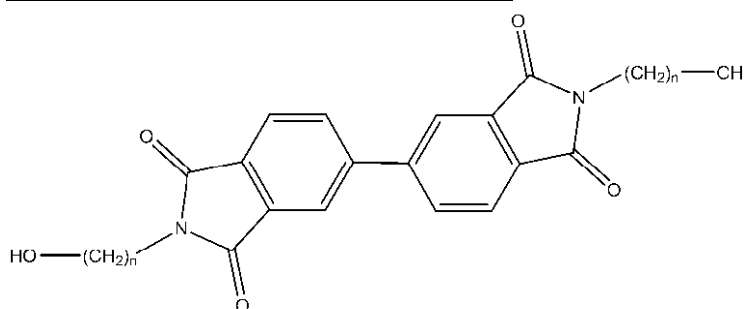
【補正の内容】

【0060】

テンター法により得られた二軸延伸フィルムは、安定であり、優れた結晶性を示した。

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

〔1〕脂肪族グリコール、ナフタレンジカルボン酸、および式 (I) のモノマー由来の繰返し単位を含むコポリエステル。

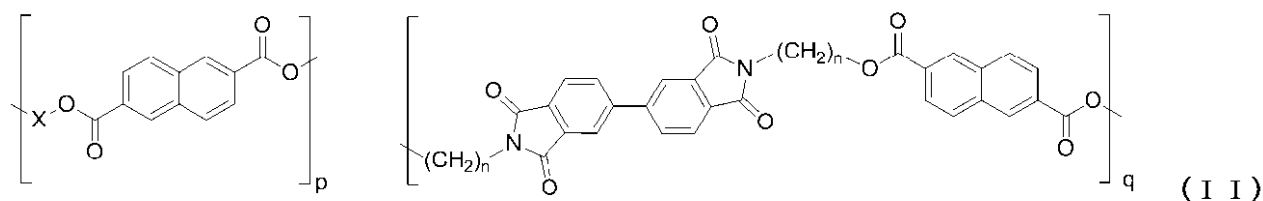


(I)

(式中、 $n = 2, 3$ 又は 4 であり、

モノマー (I) は、コポリエステルにおけるグリコール部分の一部を構成する)

〔2〕式 (II) を有する、前記〔1〕に記載されたコポリエステル。



(II)

(式中、 $n = 2, 3$ 又は 4 であり、

基 X は、前記脂肪族グリコールの炭素鎖であり、

p 及び q は、それぞれ、脂肪族グリコール含有繰返しエステル単位及びモノマー (I) 含有繰返しエステル単位のモル分率である)

〔 3 〕モノマー（Ⅰ）が、コポリエステルにおけるグリコール部分の約 5 ～ 約 5 0 モル % の範囲で存在する、前記〔 1 〕又は〔 2 〕に記載されたコポリエステル。

〔 4 〕モノマー（Ⅰ）が、コポリエステルにおけるグリコール部分の少なくとも約 8 モル % の範囲で存在する、前記〔 1 〕乃至〔 3 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

〔 5 〕ナフタレンジカルボン酸が、2, 6 - ナフタレンジカルボン酸である、前記〔 1 〕乃至〔 4 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

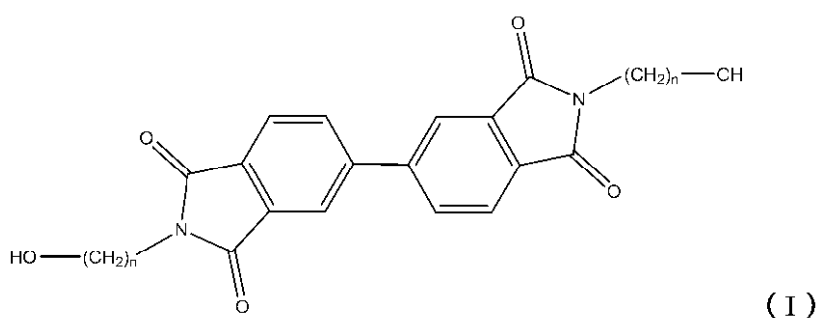
〔 6 〕脂肪族グリコールが、 C_2 、 C_3 又は C_4 脂肪族ジオールから選択される、前記〔 1 〕乃至〔 5 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

〔 7 〕脂肪族グリコールが、エチレングリコールである、前記〔 1 〕乃至〔 6 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

〔 8 〕脂肪族グリコールにおける炭素原子数が、コモノマー（Ⅰ）における数 n と同じである、前記〔 1 〕乃至〔 7 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

〔 9 〕 $n = 2$ である、前記〔 1 〕乃至〔 8 〕のいずれかに記載されたコポリエステル。

〔 1 0 〕式（Ⅰ）の化合物。



（式中、 $n = 2$ である）

〔 1 1 〕前記〔 1 〕乃至〔 9 〕のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、ポリエステルフィルム、特に延伸フィルム、特に、二軸延伸フィルム。

〔 1 2 〕前記〔 1 〕乃至〔 9 〕のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、繊維若しくは成形組成物、又は成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

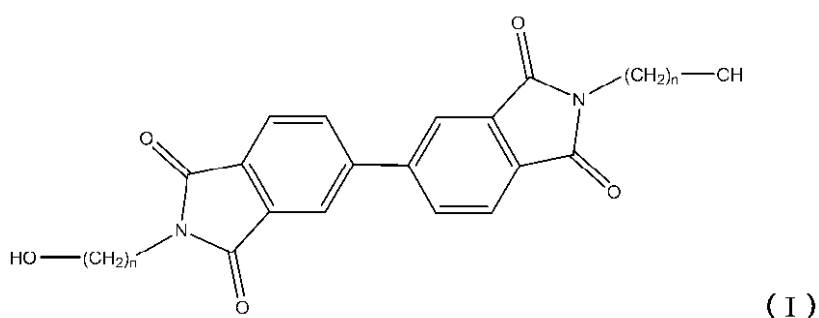
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脂肪族グリコール、ナフタレンジカルボン酸、および式（Ⅰ）のモノマー由来の繰り返し単位を含むコポリエステル。

【化 1】



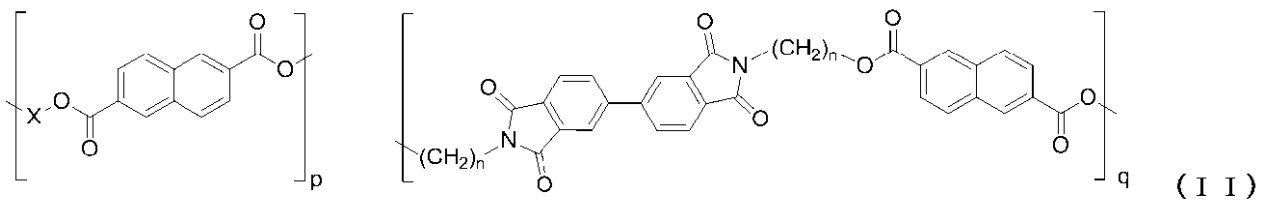
（式中、 $n = 2$ 、3 又は 4 であり、

コモノマー（Ⅰ）は、コポリエステルにおけるグリコール部分の一部を構成する）

【請求項 2】

式 (I I) を有する、請求項 1 に記載されたコポリエステル。

【化 2】



(式中、 $n = 2$ 、 3 又は 4 であり、

基 X は、前記脂肪族グリコールの炭素鎖であり、

p 及び q は、それぞれ、脂肪族グリコール含有繰り返しエステル単位及びモノマー (I) 含有繰り返しエステル単位のモル分率である)

【請求項 3】

モノマー (I) が、コポリエステルにおけるグリコール部分の約 $5 \sim$ 約 50 モル%の範囲で存在する、請求項 1 又は 2 に記載されたコポリエステル。

【請求項 4】

モノマー (I) が、コポリエステルにおけるグリコール部分の少なくとも約 8 モル%の範囲で存在する、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 5】

ナフタレンジカルボン酸が、 $2, 6$ -ナフタレンジカルボン酸である、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 6】

脂肪族グリコールが、 C_2 、 C_3 又は C_4 脂肪族ジオールから選択される、請求項 1 乃至 5 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 7】

脂肪族グリコールが、エチレングリコールである、請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 8】

脂肪族グリコールにおける炭素原子数が、コモノマー (I) における数 n と同じである、請求項 1 乃至 7 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 9】

$n = 2$ である、請求項 1 乃至 8 のいずれかに記載されたコポリエステル。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、ポリエステルフィルム。

【請求項 11】

延伸フィルムである、請求項 10 に記載されたポリエステルフィルム。

【請求項 12】

二軸延伸フィルムである、請求項 10 に記載されたポリエステルフィルム。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載されたコポリエステルを含む、繊維、成形組成物又は成形品。